

平成29年度 1年自然科学コース校外研修（藤前干潟）

5月10日(水)、自然科学コース1年生が恒例の藤前干潟の研修に出かけました。雨が心配されましたが、天候も曇りのまま何とかもち、予定通り干潟に入ることができました。午前中の藤前活動センターでは、ガイド(ガタレンジャー)の誘導にしたがって干潟に入り、そこに棲む生き物を実際に穴を掘って観察しました。午後からは名古屋市野鳥観察館で望遠鏡を使った野鳥観察、その後稲永ビジターセンターでDVDによる学習を行いました。以下参加生徒の感想です。



干潟のガイドさんの説明を受ける

【生徒の感想】

- ・干潟が渡り鳥や多くの生物にとって大切な場所であるということがよくわかりました。生物たちがたくさん訪れる場所なので、キレイに保ちたいと思いました。
- ・干潟では穴の空いている場所を探すと生物が多く住んでいて、初めて見たものがたくさんいて驚いたので、自分でも調べてみたいです。
- ・(ガイドさんの)説明がわかりやすかった。干潟をガイドしてくれるガタレンジャーの活動に興味を持ちました。
- ・この研修を通じて、自分の知らないところでも、間接的に自分たち人間の生活にも深いかわりを持っていることに気付きました。実際に干潟にふれることによって、干潟の重要性を改めて知ることができました。
- ・仲間といろいろな体験をすることでクラスの絆も深まりました。
- ・干潟は栄養分を分解してくれるということも知り、干潟は我々人間にとっても重要な場所だと思いました。干潟の歴史も学ぶことができ、これからも未来に残していきたいと感じました。



干潟研修の様子



干潟で見つけた生物



DVDで干潟の歴史や生物の勉強



野鳥館の近くで集合写真

